

令和 5 年度

第 2 回 エコル検定

問題冊子

～中学生以上向け～

2023 年 2 月 3 日（土）

11 時 00 分開始 試験時間 60 分

注意事項

問題は 40 問あります。すべて 2 択です。正しいと思う場合は○を、間違っていると思う場合は×を解答欄に記入してください。

試験中の私語、スマートフォンなどの電子機器の使用、他の受験者の答案を盗み見るカンニングは不正行為とみなします。

また、試験開始の合図の前に、問題を見ること、解答を始めることも不正行為とみなします。

不正行為をした場合、採点を実施せず、認定証の交付も行いません。

11 時 15 分になりましたら、希望者は解答を終了し、退室することができます。

退室する場合は、忘れ物がないかよく確認してください。

検定試験の結果については、後日、お申し込みをされたメールアドレスへご案内いたします。

試験官より指示がありましたら、以下の名前欄に、受験番号と氏名を正しく記入してください。記入がない場合は、採点を実施せず、認定証の交付も致しません。

なお、受験番号は、着席している座席に掲載している番号を記入してください。

この冊子は持ち帰らないでください。

この冊子の無断転載、無断転用はお控え下さい。

受験番号	名前

1 エコルとごし内にある展示や、エコルとごしでの取り組みに関して書かれた以下の文(1)から(10)について、正しいものには○を、間違っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- (1) エコルとごしでは、空調の省エネのために、床放射式空調、地中熱利用、断熱性に優れたエコガラス、外壁の高断熱化を導入している。
- (2) 地球温暖化が進むと、桜の開花の時期が早まる。
- (3) 地球温暖化が進むことで、新たな伝染病の流行や、食糧供給の不安定化など、生活自体が大きく変わる可能性が示唆されている。
- (4) 自動車、航空機、鉄道の二酸化炭素排出量を比較した場合、人1名当たりの二酸化炭素排出量が最も多いものは、航空機である。
- (5) 冷蔵庫と電子レンジの消費電力を比較すると、消費電力が大きいのは冷蔵庫である。
- (6) 1960年代以降、家電製品が普及し、家庭の電力消費量は大きく増加したが、現在は節電意識の高まりや、省エネ技術の革新により、家庭の電力消費量は減少傾向にある。
- (7) 日本国内の飲食店や食品メーカーなどから出る食品ロスの量を2030年までに、273万トンまで減らす目標があるが、現在まで、この数値を下回ったことはない。
- (8) 廃棄物を無害化するために埋立処分を行う施設を最終処分場というが、東京都の最終処分場が満杯になるまでの時間である残余年数は、50年である。
- (9) 木材を紙のように薄く削ったものを経木と言い、タオルのように使用していた。
- (10) 食用油1滴が溶けた水を、魚が住める水質になるように水で薄める場合、13.5Lの水が必要となる。

1 解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

2 生物多様性に関して書かれた以下の文（1）から（10）について、正しいものには○を、間違っているものには×を、7ページの解答欄に記入しなさい。

- （1）人間による乱獲や駆除、生活環境の変化によって、絶滅してしまった生物は多いが、地球温暖化が直接の原因となって絶滅した生物は2023年の時点で確認されていない。
- （2）スーパーマーケットに並ぶ、ニホンウナギとタイセイヨウクロマグロは、どちらも絶滅危惧種である。
- （3）生物の絶滅は過去にも起きていたが、現在の生物の絶滅のスピードは、1万年前と比較すると、約400万倍まで加速している。
- （4）野生生物の保護を目的としたさまざまな条約があり、1971年には湿地の保全に関するラムサール条約、1973年には野生動植物の取引を制限するワシントン条約、1993年には生物多様性の保全を目指した生物多様性条約が採択された。
- （5）日本の場合、外来種が増えると、より自然が豊かになるため、外来種はどんどん入れた方が良い。
- （6）ミシシippアカミミガメとアメリカザリガニは、2023年に条件付特定外来生物に指定されたため、野外へ逃がすと罰金、罰則の対象となる。
- （7）日本の法律上、許可なくブラックバスをペットにすることはできない。
- （8）奄美諸島におけるハブ駆除のためのマングースの導入は、失敗に終わったが、世界各地を見ても、外来種の導入は、環境への悪影響という形で失敗に終わった事例しかない。
- （9）琵琶湖で見られるワカサギや、東日本で見られるニホンヒキガエルは、いずれも在来種ではなく、日本国内の他の地域から移入した国内外来種である。
- （10）日本が自然分布域であるワカメは、ニュージーランドや地中海などへ移入後、急激に増殖したため、ヒアリやブラックバスなどと同様に、世界の侵略的外来種ワースト100に指定されている。

2 解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

3現在、様々な環境に配慮した製品があり、それらには様々なマークが表示されていることがある。以下の(1)から(5)までのマークと、マークの名称や意味の組合せについて、正しいものには○を、間違っているものには×を8ページの解答欄に記入しなさい。

(1)



名称：FSC マーク

意味：森林の生物多様性を守り、地域社会や先住民族、労働者の権利を守りながら適切に生産された製品であることを示す。

(2)



名称：レインフォレスト・アライアンス

意味：このマークのある製品の売上げの一部が、環境問題や労働問題が特に多い熱帯雨林の農園を支援する活動に充てられることを意味する。

(3)



名称：グリーンマーク

意味：生産から廃棄までの全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品であることを意味する。

(4)



名称：再生紙使用マーク

意味：使用している紙の古紙パルプ配合率を右側の数値として表示する。表示は義務付けられておらず、事業者が自主的に付ける。

(5)



名称：バイオマスマーク

意味：生物由来の資源を活用し、品質および安全性が関連する法規、基準、規格等に適合していることを示す。

3 解答欄				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

4 私たちの生活と、環境問題に関連して記された下記の文（1）から（5）について、正しいものには○を、間違っているものには×を9ページの解答欄に記入しなさい。

（1）品川区は2022年6月にゼロカーボンシティ宣言を行ったが、「カーボンの排出量を実質ゼロにする」とした目標達成年度は2030年度である。

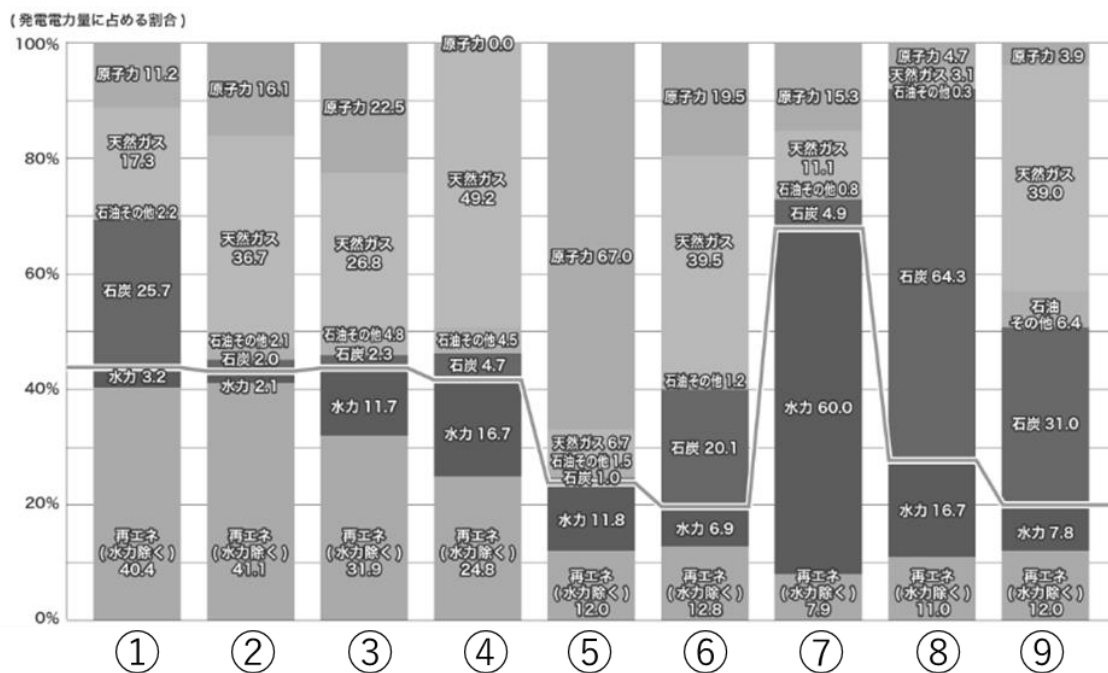
（2）野菜や果物を作るときに農薬や化学肥料をたくさん使うと土や水、空気を汚します。農薬や化学肥料を使わない農法をオーガニック農業(有機農業)という。

（3）「エシカル」とはもともと「倫理的な」「道徳的な」という意味だが、簡単に言い換えると「人や社会、環境に配慮されている」という意味である。

（4）世界で電力を使えない人は6億人以上いる。

（5）下のグラフで日本は③のグラフである。

主要国の発電電力量に占める再エネ比率の比較



4 解答欄				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

5 次本文を読み、問1～問3について解答しなさい。

世界196ヶ国のうち、約7割に当たる146ヶ国が発展途上国である。発展途上国への支援は続いているが、格差は今でも残っている。①食糧問題に目を向けると、日本は海外からの輸入に多くの食品を頼っていることから、フードマイレージが他国と比較して非常に大きいという課題がある。一方、世界に目を向けると砂漠化の進行に伴った地下水の枯渇により、農地の減少が進行している。また、食料を巡る抗議運動や暴動も各国で起こっており、これらの多くは、食料の価格が要因となっている。

また、教育についても格差が残っている。高所得国での初等教育の就学率は男女ともに96%と高い水準である一方で、低所得国では、男子が83%、女子が78%とジェンダー問題も解消されていないことが明らかになっている。②教育の機会を喪失することで、職業選択の幅が狭まってしまうほか、公共サービスの利用にも支障をきたしかねない。

これらの格差を埋めるために、開発援助委員会に加盟している国は、政府開発援助（ODA）を行っており、実績の発表も行われている。③2022年のODA総額は、前年比13.6%増で、4年連続過去最高を更新している一方で、金額と並ぶ貢献度の指標である対GNI（国民総所得）比の点では、国際目標である0.7%を達成した国は5か国のみであった。

問1 下線部①に関して、世界の食糧事情について述べた以下の文のうち、正しいものには○を、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) 日本で出る食品ロスは年間約 600 万トンあり、飢餓問題を抱える国に向けた国連世界食糧計画による食糧支援量の約 14 倍に相当する。
- (2) 日本で売られているチョコレートの原料の 7 割はガーナから輸入されているが、ガーナでは 2014 年の時点で 180 万人以上の児童労働が確認されている。
- (3) 世界では約 8 億人が飢餓状態にあるが、これは食料の生産量が需要に達していないことが原因である。

問2 下線部②に関して、世界の教育事情について述べた以下の文について、正しいものには○を、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) 発展途上国での識字率は依然として低い状態であり、成人の識字率が 15%程度の国も存在する。
- (2) 就学率が低くなる原因として、教員の不足、経済的負担などが挙げられる。
- (3) 女兒の教育機会の喪失の原因として、児童婚の問題が挙げられるが、今後、児童婚は増加すると推測されている

問3 下線部③に関して、2022 年の ODA について述べた以下の文について、正しいものには○を、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) ODA 総額の増加の主な原因は、「援助国で受け入れた難民に対する支援」の増額であり、途上国に流れていかない支援による増額であることが指摘された。
- (2) 途上国に対する新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) のワクチン寄付は、ほぼすべての支援国で、自国で余剰となったワクチンの寄付であったことが明らかになった。
- (3) ウクライナ支援関係の ODA が増加した一方で、後発開発途上国や、サハラ以南のアフリカ向けの ODA が減額していることが明らかになった。
- (4) ウクライナの復興には、2023 年 3 月時点で 4000 億ドル (60 兆円) 以上と見積もられており、この金額は 2022 年の ODA 総額の 2 倍の金額である。

5 解答欄		
問 1	(1)	
	(2)	
	(3)	
問 2	(1)	
	(2)	
	(3)	
問 3	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	

問題は以上です。